

公表	児童発達支援事業所における自己評価総括表
----	----------------------

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス ほーぶす		
○保護者評価実施期間	R8年2月1日		～ R8年3月4日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 7名	(回答者数)	6名
○従業者評価実施期間	R2年2月1日		～ R2年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 9名	(回答者数)	9名
○事業者向け自己評価表作成日	R8年3月6日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	安全で子どもたちが安心できるスペースが確保されている。	一階と二階で活動スペースを分けている。 ゆったりと過ごしたい利用児に関しては、部屋を分けて過ごしている。 安全確保のため、定期的に点検を行っている。	利用児が増えてきた時の部屋分けの方法や活動と自由に遊ぶ時間の使い分けをどうしていくかを検討していく必要がある。引き続き、利用児に合わせた環境設定を行っている。
2	活動プログラムを季節や天候に合わせて柔軟に変更をしている。	季節を感じることができるようなプログラムを取り入れたり、公園やお買い物体験を通して地域の方達とのふれあいができるようにし、様々な経験ができるように取り組みを行っている	プログラムや施設外の体験など、固定化しないように職員間話し合い意見をだしたり、児童の意見も取り入れ主体的に活動を考え取り組めるような機会をつくっていく。
3	異年齢や地域の学童との交流ができています	近隣に学童があり、定期的に関わり交流を持っている、特性や性格に合わせながら異年齢で関わる機会を設けることができる環境を設定している。	異年齢での関わりをなかで、生活や社会性、人間関係などを遊びや活動のなかで楽しみながら取り組み身に着けることができるような環境を設定していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	SNSを使用している情報発信があまりできていない。	インスタグラムなどを通して、最近の活動など時々発信することはできているが、定期的な発信ができていない。	季節の取り組みや課外活動など取り組んだ際に、SNSでの発信を行い強化していく。
2	保護者への直接的な支援を更に行うこと	時間の確保がむずかしい	親子参加型のイベントなどの開催も考えていきたい。
3			